

TSC Mentoring Project for Preschool Teachers

Tokyo Gakugei University and Shiraume Gakuen University Consortium



保育者の成長を支える
メンタリング



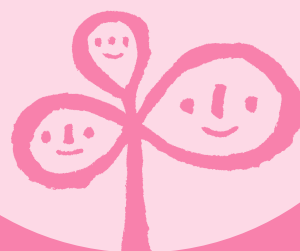
保育者の学びの創造

幼稚園メンタリングプロジェクト

平成18年度文部科学省資質の高い教員養成推進プログラム
教員養成メンタリング・システムの開発
～幼稚園教員養成・教員研修の融合～

国立大学法人 東京学芸大学
学校法人白梅学園 白梅学園大学

2006年11月





メンタリングは 保育者の力量形成を支えます

メンタリングって？

メンタリングは、豊かな経験をもつ専門家が、経験の浅い新人や若手の自立を見守り、援助することをいいます。

この新人や若手を支援するベテランの専門家のことを、メンターと呼びます。

メンタリングは、幼稚園の教育現場でも、新人の保育者が熟達した保育者に支えられ、多くのことを学びながら専門的に成長するために、とても大切なことです。



パーソナルな関係を基盤に

メンタリングでは、メンターの保育者は、新人の保育者をあたたかく受け入れて信頼関係をつくり、実践のさまざまな状況に出会う新人の気持ちを支えながら、専門的な援助をしています。

メンターの保育者は、新人の保育者に対して、実践者としてのモデルになる、子どもや教育について聴いて語りあう、情報をあたえる、問いかける、助言する、問題を見つけて解決をうながす、新しい課題に挑戦させるなどの役割を担います。





コミュニケーションマーク



双葉の部分は、∞(無限大)の造形をもとにメンターとメンティーの有意義なメンタリング活動の姿を表し、そこから芽吹く新芽は、そうした保育者たちのもとですくすく育っていく子どもを表現しています。

互恵的な学び

新人の保育者は、メンターの保育者の支援を受けることによって、教育の実践経験を豊かにして、専門的な見識と技量を身につけていくことができます。

そして、幼児教育の専門家および園の保育者集団の一員としてのアイデンティティを確かなものにしていきます。

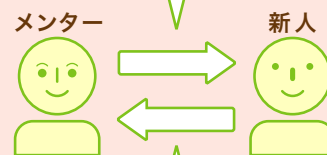
メンターの保育者は、新人へのメンタリングを通して、自らの実践や専門的な見識のあり方をふりかえり、問いなおす機会をえます。

子どもの理解や教育のむずかしさと豊かさを見つめなおし、新たな発見と試みを重ねることは、創造的な実践をつくりだす原動力になっていきます。

このように、メンタリングは、新人や若手とともにメンター自身にとっても意味のある学びを生み出すものです。

保育者同士のコミュニケーションを通して、お互いに専門家としての力量を高めあう関係づくりを、メンタリングは実現していきます。

- 情緒的・心理的な支え
- 専門的な成長の援助
- 専門家としての役割の形成



- 自らの教育実践の問いなおし
- 専門的な見識の洗練と深まり
- 教師の専門的成長についての豊かな理解



保育者が育つ、育てるメンタリングに向けて

東京学芸大学・白梅学園大学のプロジェクトでは、保育者養成にメンタリングをとりいれて、魅力ある保育者を育てるとともに、そのためのサポート体制をつくります。

教育プラクティス

学生は、数ヶ月から1年間の「教育プラクティス」(週1回程度)として、幼稚園の観察、記録、保育などを行い、さまざまな場面でメンターの保育者からメンタリングを受けていきます。メンタリングを通して、学生は、子ども理解やカリキュラムの編成、環境づくり、援助の方法などの実践的な見識と技量を身につけ、自らの実践をふりかえり学び続ける保育者になることが期待されています。

教育の今日的課題への対応

幼稚園でとり組まれている課題ごとに、学芸大・白梅大の教員からなるプロジェクトチームを組織し、必要におうじて助言や研究会を行って、課題の協同的な解決を目指します。学生も、教育現場の課題について考え、ともに携わりながら、教育の今日的課題に対応する力量を培っていきます。

メンタリングについての学習の機会

メンターの保育者が、十分にメンタリングを行えるように、メンタリングについて理解し、基本的な知識と技術をえることができる研修の機会を提供します。また、メンタリングの実際について議論しながら、メンターとしての力量を高めていける検討会やシンポジウムを開きます。

フィールド・コーディネータの活用

フィールド・コーディネータがプロジェクト運営機構から派遣され、各園を定期的に巡回して、メンタリングについての質問や相談にたいねいに対応していきます。どのようなことでも、気になること、わからないことがありましたら、フィールド・コーディネータにお気軽にお声をかけてください。

◎ お問い合わせ

幼稚園メンタリングプロジェクト TSC Mentoring Project for Preschool Teachers

〒184-8501東京都小金井市貫井北町4-1-1 東京学芸大学 総合教育科学系 幼稚園メンタリングプロジェクト事務局
Tel & Fax : 042-329-7382 (岩立京子 研究室) <http://www.u-gakugei.ac.jp/~planning/youchien/>

PHOTOGRAPH : Kohzo Amano (幼児写真家), Mayumi Fukumoto DESIGN : Kenichi Masaki, Takehiro Kiriyama



このシンボルマークは、メンターとメンティーの積極的な対話を通じて実践されるメンタリングの理想像をイメージしたものです。メンタリングの頭文字「M」を造形的なモチーフにして、ベテランと新米の保育者がお互いに支えながら、大きく手を広げて成長していく姿を表現しました。横に貫くブルーの一本線は、メンターの豊かな経験と支援がもたらすメンティーの学びと継承を意味し、それらを担っていく本プロジェクトの創造的な活動を象徴しています。また、二人の顔にあたる黄色の玉は、そうしたメンタリングを通じて生まれる「発見・気づき」を表すとともに「学びの創造」に向けた期待感でもあります。